

## セルビブリオ・ジャポニクス由来ペクチンリラーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-0909

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** ペクチン酸リラーゼ (EC 4.2.2.2) は、植物組織のマセレーションと軟腐敗に関与する酵素です。ペクチン酸リラーゼは、ペクチン酸の除去的切断を行い、非還元末端に4-デオキシ- $\alpha$ -D-マンナン-4-エヌロノシル基を持つオリゴ糖を生成します。このタンパク質は、花粉発生の後期に最大限に発現します。花粉管の成長中にペクチンの分解が必要であることに関連して、ペクチン酸リラーゼ遺伝子の花粉発現が関係している可能性が示唆されています。この酵素は、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。

**別名** (1->4)-アルファ-D-ガラクトuron酸リラーゼ; ポリガラクトuron酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; ポリガラクトuron酸リラーゼ; エンドペクチンメチルトランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; エンドガラクトuron酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸リラーゼ; ペクチンリラーゼ; アルファ-1,4-D-エンドポリガラクトuron酸リラーゼ; PGAリラーゼ; PPase-N; エンドアルファ-1,4-ポリガラクトuron酸リラーゼ; ポリガラクトuron酸リラーゼ; ペクチン・トランスエリミナーゼ; ポリガラクトuron酸・トランスエリミナーゼ; ペクテートリラーゼ; EC 4.2.2.2

### 製品情報

由来	セルビブリオ・ジャポニクス
形態	液体
EC番号	EC 4.2.2.2
CAS登録番号	9015-75-2
分子量	~ 38kD
活性	~ 470 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 10.0および40°CのCAPSバッファ中で、カルシウム塩 (1 mM) の存在下でポリガラクトuron酸から1分あたり1 $\mu$ moleの4,5-不飽和生成物を放出するために必要な酵素の量として定義されます。

### 保管・発送情報

保存方法 4°C